

音楽の始まりは即興!

~若き才能が
サックスの名手・平野公崇と
舞台上情熱の演奏を
くりひろげる!~



永田 堇(ヴィオラ)



佐野 幹仁(打楽器)



中村 淳(フルート)



荒木 遼(建築)



白石 義愛(ベース)



榎 和馬(ピアノ)



大谷 舞(ヴァイオリン)



高倉 圭吾(ピアノ)



即興オーディション受賞者による

即興演奏会

in ICHIKAWA

平野公崇(サックス) ソザフヒロミチ(CAPSULEOFFICE)

2021年

1月16日(土)

14:30 開場
15:00 開演

行徳文化ホールI&I

全席自由 1,500円

ローズメンバーズ500円引
※未就学児入場不可

2020年11月23日(月祝)チケット一般発売
10:00~店頭販売 15:00~電話予約

—プレイガイド—

●行徳文化ホールI&I 047-701-3011
●芳澤ガーデンギャラリー 047-374-7687

●市川市文化会館(仮)事務所 047-379-5111
●財団公式HP <https://www.tekona.net/>

「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に従い開催いたします。
皆様に安心してご鑑賞いただけるよう、ご来館の際はマスクの着用等の感染症対策にご協力をお願いいたします。

主催・お問い合わせ:公益財団法人 市川市文化振興財団 ☎047-379-5111 <https://www.tekona.net/>

音楽の始まりは即興! ~若き才能がサクスの名手・平野公崇と舞台上で情熱の演奏をくりひろげる!~



平野公崇(サクス)

市川市文化振興財団 第1~4回 即興オーディション 審査員

東京藝術大学在学中、第7回日本管打楽器コンクールで第1位入賞。卒業後、パリ国立高等音楽院に入学し、サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を最優秀の成績で卒業。在学中にJ.M.ロンデックス国際コンクールを制し、日本人サクソフォニストとして初の国際コンクール優勝者となり、翌年オーケストラ・ナショナル・ボルドー・アキテーヌの定期演奏会でC.アベルのコンチェルト“It”を世界初演。Sud-Ouest紙の絶賛を浴びる等、華やかなフランス・デビューを果たした。同年、パリでギャルド・レピュブリケーヌ管弦楽団とA.グラズノフのコンチェルトを共演している。これまでにコンテンポラリー作品と即興で構成された異色のデビュー・アルバム『ミレニアム』、ジャズメンとのセッションを収録した『ジュラシック』、待望のクラシックアルバム『クラシカ』、最新アルバムは『C.P.E.バッハ:シンフォニア』などこれまで6枚のCDをリリース。オーケストラとの共演も多く、日本テレビ「深夜の音楽会」からの委嘱作品「7つの絵~有元利夫に捧ぐ」では作曲家としても高い評価を受け国内外での再演が続いている。正統派クラシックから、現代作品、即興、ジャズまで、幅広いフィールドを縦横無尽に駆け抜ける新しいタイプの実力派サクソフォニストとして活躍中。(photo©ノザワヒロミチ(CAPSULEOFFICE))



佐野幹仁(打楽器)

市川市文化振興財団 第1回 即興オーディション 最優秀賞

兵庫県西宮市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。これまでに打楽器を茶屋克彦氏、中山航介氏、藤本隆文氏、杉山智恵子氏に師事。MIKISARA、LA SEÑAS、LA SEÑAS COLECTIVO、パノラマスティールオーケストラ、ゴーシュなど多数の楽団に所属。打楽器と自分自身を愛する音楽家。シール、Tシャツなど自分グッズ多数制作。ミス藝大2017にてグランプリ獲得。ミスター藝大にてグランプリ獲得。



白石義愛(ベース)

市川市文化振興財団 第1回 即興オーディション 優秀賞

大阪府に生まれる。14歳より独学でベースを始め、高校では器楽部(ビッグバンド)においてベースを担当。2016年国際ジャズオーケストラフェスティバル(ステラジャム)にて同部で総合優勝。ベース部門において個人賞を獲得。2017年洗足学園音楽大学ジャズコースを特待生として入学。即興演奏を主とし、現在はノイズバンド『藤』、音楽を主体とした実験的集団『elttoB』等に所属。ソロとしても弾き語りで活動している。



大谷舞(ヴァイオリン)

市川市文化振興財団 第2回 即興オーディション 優秀賞

東京藝術大学ヴァイオリン科3年在学中。大学入学後に即興演奏やロック、アイルランド音楽と出会い、様々なコンサートやライブ等で演奏するようになる。現在はアイルリッシュバンド「Dé Domhnaigh (ジエ・ドゥーナ)」や即興演奏集団「LA SEÑAS-COLECTIVO」にてフィドル奏者・エレキヴァイオリン奏者として活動中。



中村淳(フルート)

市川市文化振興財団 第2回 即興オーディション 優秀賞

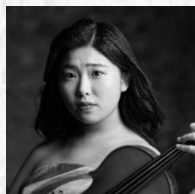
愛知県出身。4歳よりピアノ、13歳よりフルートを始める。第71回全日本学生音楽コンクール全国大会入選。第19回大阪国際音楽コンクール管楽器部門Age-U第3位(フルート最高位)。第22回長江杯国際音楽コンクールアンサンブル部門一般の部A最高位。一宮シティー管弦楽団とフルート協奏曲「ごしきひわ」を共演。大学の授業で即興を平野公崇に、ジャズをMALTAに学ぶ。名古屋市立菊里高校音楽科を経て東京藝術大学3年に在学中。



槇和馬(ピアノ)

市川市文化振興財団 第2回 即興オーディション 優秀賞

幼少よりピアノを始める。第26回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門神奈川県知事賞(大賞)。第23回パトロフピアノコンクール高校の部最高位。第5回東京国際ピアノコンクール大学生部門第1位。2012年鎌倉交響楽団と共演。東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、在学中成績優秀者に選抜される。現在東京藝術大学作曲科1年に在学中。これまでに岡田敦子、吉田友昭、平川加恵の各氏に師事。現在渡辺健二氏、野平一郎氏に師事。



永田堇(ヴィオラ)

市川市文化振興財団 第3回 即興オーディション 優秀賞

東京藝術大学音楽学部3年在学中。藝大附属高校入学を期に、ヴィオラを川崎和憲氏に師事。2018年、京都フランス音楽アカデミーにて奨学金を授与され、パリ・エコールノルマル音楽院、ブルーノ・パスキエ氏のもとで1年間研鑽を積む。即興演奏を平野公崇氏に師事。特殊奏法、ヴィオラをはじめとする弦楽器の響きの可能性を探ることに興味があり、同世代の作曲家たちの新曲にも積極的に取り組んでいる。(photo©井村重人)



高倉圭吾(ピアノ)

第64回全日本学生音楽コンクール高校の部北海道大会第1位、全国大会第3位。第5回野島稔よこすかピアノコンクール第2位。東京藝大モーニングコンサート出演。第15回G.Pecar国際ピアノコンクール第1位。Les Musicales du Centre 即興部門第1位。パリ国立高等音楽院を経て、現在東京藝術大学音楽研究科1年。これまでにピアノを佐藤睦美、橘高昌男、植田克己、上田晴子、F.Braley、有森博の各氏に師事。



荒木遼(建築)

東京藝術大学美術学部建築科卒業。在学中より舞台美術やインスタレーションの制作、パフォーマンス作品の発表や舞台出演など多岐に渡り活動。平野公崇監修「目で聴く 耳で観る 即興コンサートvol.1~vol.3」では空間演出を担当。また、主な出演作品に、シェイクスピアアター「ヘンリー4世」ブランド/サイレンス役、三越劇場「リア王2018」他。2019年、ミュージカル「Footloose」にて初演出を務める。現在は劇作ユニット「site零」にて脚本、演出を手掛け、舞台芸術の可能性を探る。